

港湾局長の海外出張について

平成28年度の港湾局長の海外出張についてお知らせします。

1 出張者及び出張先

出張者： 港湾局長 斎藤 真人

出張先： ケラン港(マレーシア)、香港港、上海港

2 出張期間

平成28年11月7日(月曜日)から同年11月11日(金曜日)まで(4泊5日)

3 出張用務

マレーシア、香港、上海の港湾管理者や船会社等を訪問し、管理や運営に関する情報を収集するとともに、東京港のPR活動を行う。

4 経費

686,510円

5 同行者数

1名

6 出張先での行動

11月7日(月曜日)

移動日(羽田→クアラルンプール)

11月8日(火曜日)

ケラン港(西港・北港)訪問

(ケラン港港湾局長表敬訪問、コンテナターミナル等視察)

移動(クアラルンプール→香港)

11月9日(水曜日)

香港港・MTL(Modern Terminal) 訪問

(ターミナル管理者訪問、コンテナターミナル等視察)

商船三井物流(香港)有限公司 訪問

カイトック・クルーズ・ターミナル 訪問

(ターミナル管理者訪問、ターミナル等視察)

コスタクルーズ社 訪問

11月10日(木曜日)

移動(香港→上海)

上海港・外高橋ターミナル訪問

(ターミナル管理者訪問、コンテナターミナル等視察)

11月11日(金曜日)

帰国日(上海→成田)

7 出張の成果

(1)ケラン港

港湾管理者を訪問し、港湾経営等に関する意見交換を行うとともに、港湾施設の視察を実施した。

ケラン港は、近年一貫して貨物量が増加傾向であることから、港湾のさらなる発展のためターミナルの拡張工事を進めるなど、港湾機能の強化に積極的に取り組んでいる。

ケラン港では、ケラン港港湾局長を表敬訪問し、港湾物流等について有意義な意見交換を行うことができた。

(2)香港港

港湾管理者を訪問し、港湾経営等に関する意見交換を行うとともに、港湾施設の視察を実施した。

香港港で今回訪れた Modern Terminal では、ハード・ソフトの両面から、環境に配慮した様々な取組を進めることで、港の魅力を高めており、環境先進港湾を目指す東京港においても、大いに参考となった。また、現地物流企業を訪れ、物流状況等に関する意見交換を行った。貨物量の減少や、物価高などの課題に直面しながらも、工夫を凝らし事業を行っているということであった。

さらに、香港では、カイトック・クルーズターミナルの視察及び客船運航会社であるコスタクルーズ社を訪問し、クルーズ客船誘致に関する意見交換や東京港の PR を行った。ターミナルビルを中心とした背後地の賑わい創出に向けた取組状況や、クルーズ客船社が寄港地に望む対応など、今後、東京港がクルーズ拠点港化を実現する上で、有意義なご意見を伺うことができた。

(3)上海港

港湾管理者を訪問し、港湾経営等に関する意見交換を行うとともに、港湾施設の視察を実施した。

上海港は長江の河口に位置している中国最大の港湾である。自国の経済発展とともに急成長を続ける港湾において、単に貨物の量的拡大を目指すだけでなく、背後圏の産業・生活への貢献を第一に考える姿勢や環境問題への積極的な取組など、港湾経営の一端に触れることができ、有意義な意見交換をすることができた。

8 お問い合わせ先

港湾局港湾経営部振興課

03-5320-5529